令和８年１０月５日

保護者の皆様

川崎市立南河原中学校
校長　金子　真奈美

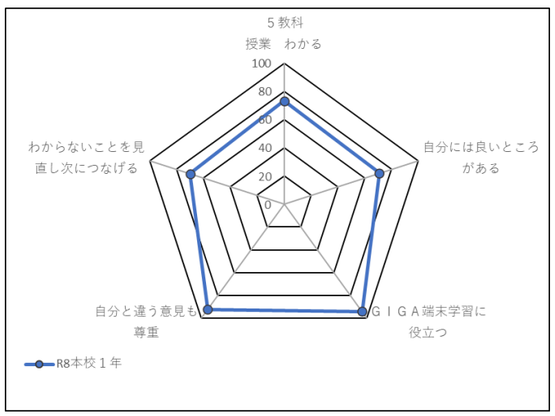
令和８年度　川崎市学習状況調査、全国学力・学習状況調査
結果の概要と今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。４月１４日（火）に行いました１～３年生対象の川崎市学習状況調査の結果と、４月２２日（水）に行いました３年生対象の全国学力・学習状況調査の結果をご報告します。本校では学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等）の実現に向け、日々の教育活動に取り組んでおり、今後は本調査結果を生かした取組をさらに進めてまいります。なお、本調査によって測定できるのは生徒の実態の一部であり、学校における教育活動の一側面ですので、本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えください。また取組の様子は、今後の学校だよりや学年だより、学校報告会や説明会等でもお伝えします。

学校教育目標（育成を目指す資質・能力、目指す生徒像等）
「自己を省みて日々新たなれ」

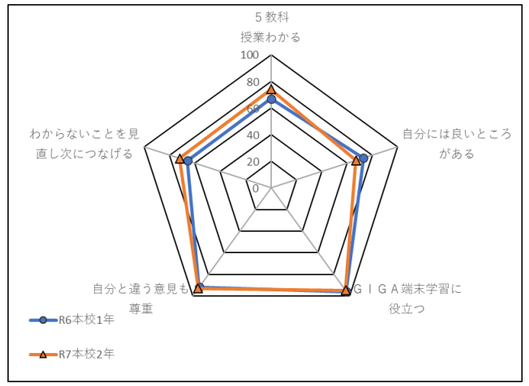
１．しっかり勉強をしよう
２．美しく豊かな心をもとう「思いやりの心をもとう」
３．進んで正しい言動をとろう
４．からだを鍛えよう
５．人のために役立とう

令和８年度　川崎市学習状況調査　１年生



	５教科　思考・判断・表現	５教科　知識・技能	国語　読むこと
R8本校１年	56	66	56
R8全体１年	57	70	57

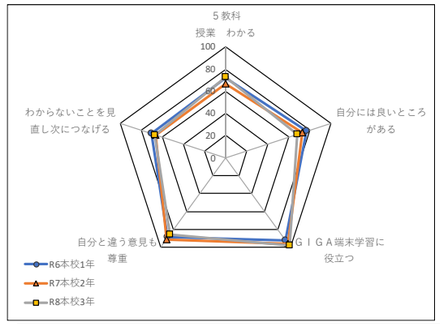
・「５教科　わかる」は 73 ポイントでした。毎時間の学習のねらいを明確にし、学習の全体像を見通せる授業を行い、まとめとして、振り返り活動を行うことで、「わかる実感」を得られるように授業改善を行います。
・「思考・判断・表現」は教科により差があります。学校教育目標「しっかり勉強しよう」を踏まえ、学んだことを生かして、身近な課題について考えたり、筋道を立てて考え、自他の考えを比較したり関連付けたりする活動を重視します。
・「自分と違う意見も尊重する」は 92 ポイントでした。普段の授業から意見の交流を活発にし、学校行事でも互いの意見を尊重できるよう取り組みを継続してまいります。
・「GIGA 端末は学習に役に立つ」は 94 ポイントでした。GIGA 端末を用いた、生徒主体の学習が定着していることがうかがえます。今後も自分の考えをまとめ、相手に伝えていくためのツールとして、活用を継続していきます。



	５教科　思考・判断・表現	５教科　知識・技能	国語　読むこと
R7本校１年	56	66	
R8本校２年	53	64	54
R8全体２年	50	65	59

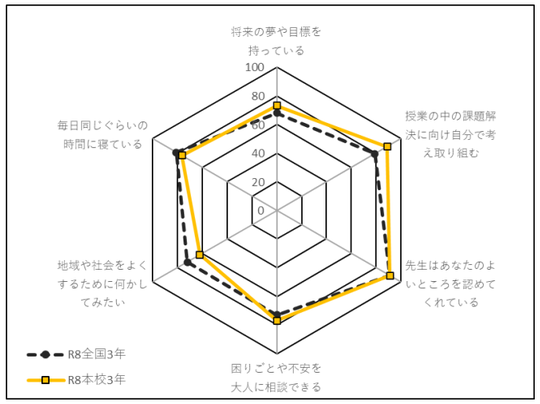
・「５教科　わかる」は１年次 67 ポイントでしたが、２年次は 74 ポイントに向上しました。昨年から充実を図っている授業のねらいの明確化、振り返り活動の成果が表れたと思われます。
・「思考・判断・表現」は教科により差があります。昨年度の取組の継続に加え、生徒が主体となれる授業展開にしてことで、自らの課題解決を充実して行えるようにします。
・「自分には良いところがある」は１年次 73 ポイント、２年次 67 ポイントとなりました。道徳教育の取り組み方法を見直し、自他のよさを認め合う活動や、学校行事等で自己有用感を得られるよう取り組みます。
・「GIGA 端末は学習に役に立つ」は１年次 96 ポイントで、２年次 95 ポイントでした。今後も生徒主体の授業づくりを目指し、どの授業においても有効な端末活用を継続していきます。

令和８年度　川崎市学習状況調査　３年生



	５教科　思考・判断・表現	５教科　知識・技能	国語　読むこと
R6本校1年	60	66	
R7本校2年	54	64	
R8本校3年	49	58	62
R8全体３年	47	58	65

全国学力・学習状況調査　３年生



・「５教科　わかる」は 73 ポイントでした。今後も１、２年次の取組を継続します。全国調査「授業の中の課題解決に向け自分で考え取り組む」での本校のポイントは全国を上回っています。課題解決に向けて学習を調整していく姿勢をさらに向上できるよう引き続き支援していきます。
・「思考・判断・表現」は全体のポイントを上回ることができ、１年次からの取組の成果が見られたと考えております。生徒の問題意識に基づく学習課題の設定を大切にして、見通しと振り返りを行うとともに、GIGA 端末を有効に活用し、個別最適な学びを重視した授業づくりを目指します。
・「自分には良いところがある」については、68 ポイントでした。全国調査「将来の夢や目標を持っている」では全国を上回る 73 ポイントとなりました。日々の授業や学校生活、行事等で、他者と共に様々なことに挑戦する活動を評価し、生徒の自己有用感を高め、学校教育目標の「美しく豊かな心をもとう」の育成に努めます。
・全国調査の「地域や社会をよくするために何かをしてみたい」でのポイントが全国よりも下回っております。今後は学校教育目標の「人のために役に立とう」の意識を高めていきます。